



25年以上続く地域活動

富田総ぐるみこどもまもり隊

秋山 辰郎さん

平成14年ごろから不審者の報告を多く聞かはじめ、児童の安全のため「なんとかせないかん」と立ち上がり、こどもまもり隊や青色防犯パトロール隊を結成。団体の会長を務め、地域を思いやり、児童の健全育成をしてきた秋山さん。令和元年に内閣総理大臣表彰も受賞されています。

「登下校の見守りは毎朝、雨でも雪でも関係なく行っています。子どもたちに会うことが活動の原動力です。児童だけでなく卒業した子もみんな、どこで会っても挨拶してくれて、笑顔が輝いている。それがうれしい」

今年90歳を迎え、立寄所10カ所目開設を最後に、会長を引退。「さまざまな活動の効果もあって、この地区で大きな事故や事件が起こらなかったことが良かったと思います。今後もこどもまもり隊の形、この城を守ってもらいたい」



▲立寄所10カ所目となった「今治育成園」にて開設式典

i.i.STORY

今治にハマった皆さんに
今治の魅力や活動についてインタビュー

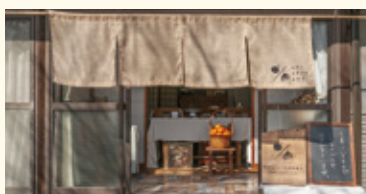
柑橘の香りに包まれる、小さな幸せ。

みかん ときどき おかし
オーナーパティシエ

福田 かゆりさん

しまなみ海道の伯方島に、週末だけ扉を開くお菓子屋さん「みかん ときどき おかし」があります。店主の福田かゆりさんは、みかん農家の娘として生まれ育ち、一度は会社勤めの道へ。けれどある日、「自分の手で、誰かを喜ばせたい」と思い立ち、お菓子作りの道へと歩み出しました。

農業とお菓子作り。どちらも一筋縄ではいかないけれど、「好きだから続けたい」という気持ちが、ゆっくりと形になっていきます。規格外の柑橘も、大切な素材のひとつ。一つ一つ手作業で仕上げる焼き菓子には、福田さんのまなざしと、島の時間が静かに流れています。海を眺めながら、島の味をひとくち。そんなぜいたくな時間を、「ときどき」過ごしに行ってみませんか？



詳しくはこちら▶

